

「意見に違いがあるのは嬉しいことだ」と考えましょう

今日は多職種協働の心構えについてお話致します。

ものは考えようだ、と言いますが、どんなことにも考え方によって良い点もあれば悪い点もあります。陰もあれば日向もあります。

私達の老健は多職種協働の職場と言われます。10人居れば10人皆考え方は違います。そしてどれが正しいかは見方によって違います。

ですから自己主張をし過ぎると摩擦が強くなるし意見を出さな過ぎるとストレスが溜まります。丁度良いバランスを考えながら良い介護を実践していく必要があります。良い介護が出来れば相手もハッピー、自分もハッピー、施設もハッピー、と言うことになります。

意見が違うヒトが居るからこそ各々の意見の陽と陰とが判るし気がつきます。それは組織が暴走しないことにも繋がります。ですから意見が違うと言うことは暴走しないために互いにとって良いことなのです。

「小異を捨てて大同につく」と「小異を残して大同につく」この二つ言葉は少しの違いですが、内容は大きく違います。小異を捨てる必要はありません。判った上で細かいことに拘らない方が全体は上手く行くし人生も楽しいよと言うことです

皆さん、仲間が互いに意見が違うことを楽しんで下さい。

以上です。

老人保健施設一羊館の理念
利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

